未来を、ひろげる。
HIROGIN HOLDINGS

経済産業Report

2024年6月4日
Vol.9

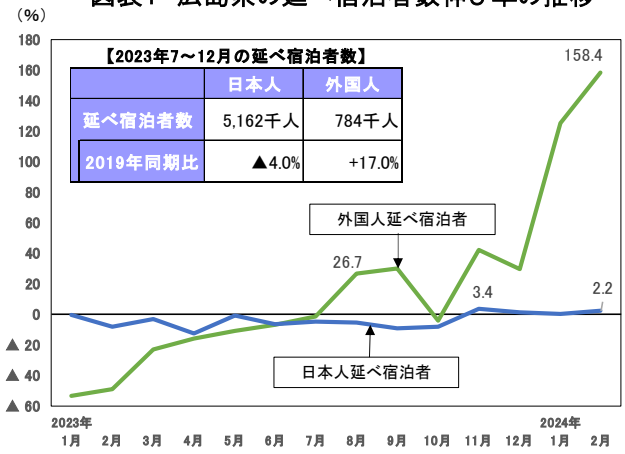
インバウンド回復の一方で伸び悩む日本人宿泊者数

伸び悩む日本人宿泊客

2023年4月の入国制限の解除、5月の新型コロナ感染症の5類移行など経済社会の正常化に伴い広島県への旅行需要も回復しています。ただし、大幅な円安進行にG7サミット開催効果が加わって訪日外国人客が急速に持ち直す一方で、日本人客はやや伸び悩んでいます(**図表1**)。

因みに、2023年7～12月の広島県の延べ宿泊者数は、日本人客が5,162千人、2019年同期比▲4.0%にとどまる一方で、インバウンドは784千人、同＋17.0%と、2桁の伸びを示しています。

図表1　広島県の延べ宿泊者数伸び率の推移



(注1)パンデミック宣言前(2019年1月～2020年2月)の同月比
(注2)2024年は閏年のため、2月数字を「28日」に割り戻し
(資料)観光庁「宿泊旅行統計調査」よりひろぎんHD経済産業調査部(以下当部)作成

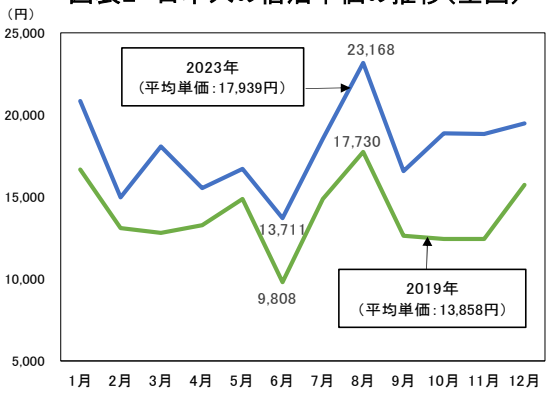
旅行代金の値上がりが影響

こうした日本人客の伸び悩みは、宿泊料金を含む旅行代金の値上がりが大きく影響しているものとみられます。

観光庁「旅行・消費動向調査」によると、2023年の日本人の平均宿泊単価(全国、観光・レクリエーション目的)は17,939円と、コロナ禍前の2019年比約3割上昇しています(**図表2**)。また、ひろぎんHD経済産業調査部で今年1月に実施したアンケート調査(広島県内の20歳以上の男女2,000人が対象)によると、物価高の中で「旅行に行く回数を減らす」と回答した人は全体の半数を超えています(**図表3**)。

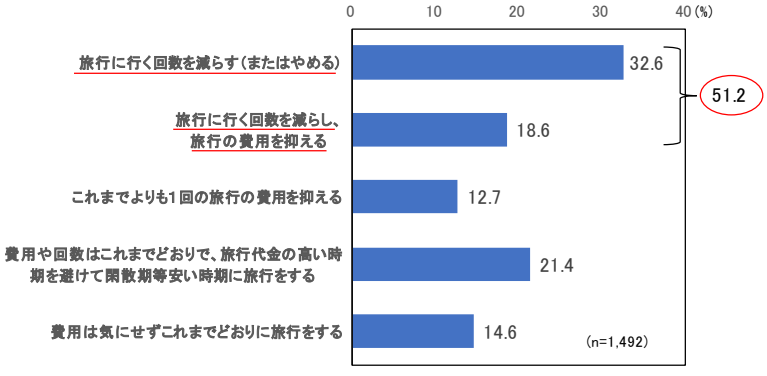
「出張」などを含めて広島県の延べ宿泊者数の約9割を日本人客が占めています。このため、インバウンドの動向と併せて、今後の賃金・物価動向が旅行、宿泊需要に与える影響を注視していく必要があります。

図表2　日本人の宿泊単価の推移(全国)



(資料)観光庁「旅行・消費動向調査」より当部作成

図表3　最近の旅行に対する意識



(資料)当部「広島県内の個人消費の動向」(2024年1月実施)

◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部　担当：稲田（℡082-247-4958）までお願いします。